

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月10日 (2011.3.10)

【公表番号】特表2010-522180(P2010-522180A)

【公表日】平成22年7月1日 (2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-554603(P2009-554603)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 36/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/99 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/72

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 9/99

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月17日 (2011.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガンのための標的化治療剤と組合せて使用するための組成物であって、該組成物は、
以下：

i) B c r - A b l 接合部配列を含む変異型ポリペプチドをコードする核酸分子で形質
転換された酵母ビヒクル；

i i) 酵母ビヒクルおよび B c r - A b l 接合部配列を含む変異型ポリペプチド；

i i i) B c r - A b l またはその免疫原性ドメインを含む変異型ポリペプチドをコー
ドする核酸分子で形質転換された酵母ビヒクルであって、該 B c r - A b l またはその免
疫原性ドメインは、以下の回避変異：T 3 1 5 I、E 2 5 5 K および M 3 5 1 T のうちの

1つ以上を含む、酵母ビヒクル；ならびに

i v) 酵母ビヒクルおよび B c r - A b l またはその免疫原性ドメインを含む変異型ポリペプチドであって、該 B c r - A b l またはその免疫原性ドメインは、以下の回避変異：T 3 1 5 I、E 2 5 5 K および M 3 5 1 T のうちの1つ以上を含む、酵母ビヒクルおよび B c r - A b l またはその免疫原性ドメインを含む変異型ポリペプチドのうちの1つ以上を含む、

ここで、該ガンのための標的化治療剤は、チロシンキナーゼ阻害剤、S r c キナーゼ阻害剤、B c r - A b l 安定性に影響する薬剤、および B c r - A b l の下流であるシグナル伝達経路で作用する薬剤から選択される、組成物。

【請求項 2】

前記 B c r - A b l 接合部配列は配列番号 5 のアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記 B c r - A b l 接合部配列は配列番号 3 のアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記変異型ポリペプチドは、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 4 または配列番号 6 から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記酵母ビヒクルは、酵母丸ごと、酵母スフェロプラスト、酵母細胞質体、酵母ゴースト、または細胞分画酵母膜抽出物もしくはその画分である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記酵母ビヒクルは、酵母丸ごとである、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記酵母ビヒクルは、S a c c h a r o m y c e s、S c h i z o s a c c h a r o m y c e s、K l u v e r o m y c e s、H a n s e n u l a、C a n d i d a および P i c h i a からなる群より選択される酵母からのものである、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記酵母ビヒクルは、S a c c h a r o m y c e s c e r e v i s i a e からのものである、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

薬学的に受容可能な賦形剤をさらに含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

哺乳動物におけるガンの症状を改善するために使用するための請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

ガンのための治療剤に対する抵抗性を低減するために使用するための、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ポリペプチドに対する免疫応答を惹起するための、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 13】

ガンの処置において使用するための、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 14】

ガンに関連するポリペプチドに対する免疫応答を惹起するためのキットであって、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物を含む、キット。

【請求項 15】

ガンのための治療剤をさらに含む、請求項 14 に記載のキット。

【請求項 16】

前記キットの使用のための説明書をさらに備える、請求項 1 4 に記載のキット。